

体罰等に関する全校アンケート調査の実施状況について

1 趣 旨

平成29年4月に発生した自死事案の調査を進める中で、過去に教員による体罰と考えられる行為があったことが明らかになったことから、全市的な状況把握を行い、体罰や不適切な指導をなくすための取組みに役立てていくため、全市立学校の児童生徒・保護者に対し、アンケート調査を行ったもの

2 実施主体 市長、教育委員会

3 アンケートの内容、実施方法

(1) 内容 <別添(中学校分)参照>

質問1：体罰や不適切な指導を受けた経験、又は直接それを見聞きした経験の有無

質問2：質問1が「あり」の場合、その具体的な状況(時期、主体、内容など)

(2) 実施方法

- ・各学校で、市長メッセージとあわせてアンケート用紙を配付。教育委員会事務局宛て郵送により回収
- ・回答者の記名は任意。確認は、教育委員会事務局、市長部局の職員が実施

4 実施状況

平成29年7月 全ての市立中学校(中等教育学校の前期課程を含む。以下同じ。)の生徒・保護者にアンケート用紙を配付【全25,625通、集計中】

平成29年9月 全ての市立小学校、市立高等学校(中等教育学校の後期課程を含む。以下同じ。)、特別支援学校にアンケート用紙を配付【全55,835通、集計中】

5 アンケート回収状況等

(1) 市立中学校分の回収状況

8,634通(回収率33.7%) 【平成29年8月30日到着分まで】

(2) 市立小学校、高等学校(中等教育学校の後期課程を含む)、特別支援学校分の回収状況

26,092通(回収率46.7%) 【平成29年9月29日到着分まで】

(3) 市立中学校分の集計状況【平成29年8月30日到着分まで】

質問1(体罰や不適切な指導を受けた経験等の有無)に対する回答状況

| | | 回収数 | あり | なし | 無回答 |
|--------|-------|--------------------|-----------------|-------------------|---------------|
| 全体 | | 8,634通 (100.0%) | 428通 (5.0%) | 8,166通 (94.6%) | 40通 (0.5%) |
| 内 訳 | 中1 | 2,458通 (100.0%) | 62通 (2.5%) | 2,390通 (97.2%) | 6通 (0.2%) |
| | 中2 | 2,306通 (100.0%) | 79通 (3.4%) | 2,223通 (96.4%) | 4通 (0.2%) |
| | 中3 | 2,260通 (100.0%) | 86通 (3.8%) | 2,163通 (95.7%) | 11通 (0.5%) |
| | 学年無回答 | 1,610通 (100.0%) | 201通 (12.5%) | 1,390通 (86.3) | 19通 (1.2%) |

6 アンケート処理の今後の進め方

平成 29 年 10 月 24 日、全市立学校長参加の合同校長会において各学校での事実確認の進め方等について指示

↓

各市立学校において校長による事実確認

↓

教育委員会事務局、市長部局職員による事実関係の精査【年度内の終了を目途に】

7 本市におけるこれまでの体罰等の防止に向けた主な取組

- (1) 体罰等の禁止の徹底に関する通知・通達の発出
【平成 25 年 2 月、平成 25 年 5 月、平成 28 年 12 月、平成 29 年 5 月】
- (2) 体罰防止ハンドブック「体罰の根絶に向けて」の作成【平成 25 年 5 月】、コンプライアンス研修資料「不祥事の根絶に向けて」の改訂版作成【平成 26 年 5 月】と校内研修等での活用
- (3) 「スクール・コンプライアンス携帯シート」の改訂【毎年 5 月】と全教職員への配付
- (4) フレッシュ先生研修（初任者研修）、10 年経験者研修（中堅教諭等資質向上研修）等の年次研修における体罰禁止に関する研修の実施

仙台市立中学校
生徒・保護者の皆様へ

学校は、子供たちの笑顔と教員の笑顔が満ち溢れる場でなければなりません。

このことで、子供たちは安心して学び、人に優しく接することができるのです。

学校は、子供たちの心と教員の心が触れ合う場でなければなりません。

このことで、子供たちは学ぶことの楽しさを知り、人と人との関わることの大切さを学んでいくのです。

私たち仙台市の学校教育は、子供たちの心に響く言葉をもって信頼を積み重ねながら、行われなければなりません。教員が、指導の名のもとに力によって子供たちを抑え込むことは、決して正しい指導ではありません。

私は、仙台市のすべての学校から体罰をなくし、子供たちの心を豊かに育む教育を実現したいと考えております。

仙台市の学校教育の明日をより良いものにするために、力をお貸しくください。

平成29年7月20日

仙台市長 奥山 恵美子

仙台市立中学校の
生徒・保護者の皆様へ

仙台市長 奥山 恵美子
仙台市教育委員会教育長 大越 裕光

体罰等（※）に関するアンケート調査へのご協力をお願い

本年4月26日に市立中学校の生徒が自ら命を絶つという悲しい出来事がございました。未来ある若い命が失われたことは誠に痛恨の極みでございます。

この度の事案では、事実確認を進める中で、過去に教員による体罰と考えられる行為があったことも明らかになりました。体罰は決してあってはならない行為です。私たちは、改めて現在の状況を見つめ直し、体罰をなくすための取組みを進めていく必要があります。

このようなことから、この度、全市立中学校を対象に下記により体罰等に関するアンケート調査を実施することにいたしました。大変ご迷惑をおかけしますが、なにとぞご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、このアンケートにつきましては、保護者の方とお子さんが相談しながら一緒にご記入くださいますようお願いいたします。

※体罰等 … ここでは、児童生徒の身体に対する侵害や肉体的苦痛を与えるような体罰及び教員による不適切な指導をいいます。

●体罰には、たとえば次のようなものが該当します。

- なぐる ○ ける ○ つねる ○ 突き飛ばす ○ 転倒させる
- トイレに行かせない ○ 長時間、正座させたり同じ姿勢を保持させたりする など

●不適切な指導には、たとえば次のようなものが該当します。

- 暴言 ○ 無視する ○ 威圧的な指導 ○ 不適切な内容を話す
- 特定の児童生徒にことさら厳しく指導する など

記

1 提出方法 お配りした封筒に入れて教育委員会事務局宛てに郵送してください

2 提出期限 **8月10日（木）までの投函をお願いいたします。**

※ アンケート提出後に何か思い出したことがありましたら、教育委員会事務局教職員課（電話214-8872）にお知らせください。

3 提出されたアンケートの取扱い

- (1) 提出されたアンケート用紙の管理は、仙台市役所の担当部署及び教育委員会事務局において行い、学校の教職員の目に直接触れることはありません。また、アンケートの結果は取りまとめの上、公表いたしますが、公表に当たって回答者の個人名等が特定されることはありません。
- (2) アンケートの結果を踏まえて、今後、学校現場における体罰等に関する状況把握を進めてまいります。事実確認のためにお話を伺う場合がありますので、その際にご協力をお願いいたします。その他、アンケート結果については、教職員に対する指導等に役立ててまいりますとともに、第三者機関による検証等にも活用してまいります。
- (3) アンケートの記載内容や提出の有無によって、あるいはアンケートに記名したこと、記名しなかったこと等によって、今後の学校生活において不利益となることは一切ありません。

4 その他

- (1) アンケート記入に当たっては、体罰等に当たるかどうか判断に迷う事案につきましてもご記入ください。
- (2) 差し障りがある場合、アンケート用紙への記名は不要です。なお、取りまとめを行うために、通し番号を付していますのでご了承ください。

【問合せ先】

教育委員会教職員課 電話 214-8872

